



鶴岡でめぐろう! 3つの日本遺産

重ね捺し スタンプラリー

出羽三山の「山」、歴史ある城下町の「里」、そして自然の恵みにあふれた「海」。

鶴岡市には、全国最多タイの3つの日本遺産ストーリーがあります。

それぞれのストーリーにまつわる文化財が、あちらこちらに点在する市内。

鶴岡をめぐりながら、歴史や文化の物語に触れてみましょう。

日本遺産とは

文化庁が認定する「地域の歴史や特色を通して、日本の文化や伝統を語るストーリー」です。

3つの日本遺産

山(出羽三山生まれかわりの旅)、里(サムライゆかりのシルク)、
海(北前船寄港地・船主集落)の特色ある日本遺産ストーリーを有する鶴岡。
文化財をまわりながら、歴史や文化をもっと知ってみよう!

重ね捺しスタンプとは?

スタンプを重ねて捺していくと、
カラフルな1枚の絵に仕上がります。



(このイラストはサンプルです)

スタンプ設置場所

基本スタンプ 3か所

- 出羽三山神社参集殿
- 致道博物館
- 渚の交番 カモンマーレ



彩りスタンプ 2か所

- 龍王尊 善寶寺
- 松ヶ岡開墾場シルクミライ館

基本スタンプで旅の絵ができあがり。彩りスタンプを加えると、さらに特別な一枚に!
めぐる順番はどんな順番でも構いません。鶴岡をめぐりながらスタンプを押しましょう。

めぐり方は裏面へ! →



鶴岡の3つの日本遺産
詳しくはこちらから

お問い合わせ: 鶴岡市日本遺産推進協議会(観光物産課) 0235-35-1301

鶴岡の3つの日本遺産

山

自然と信仰が息づく 生まれかわりの旅

出羽三山は羽黒山が現世、月山が過去、湯殿山が未来を象徴しています。江戸時代に庶民の間で「生まれかわりの旅」として広がった三山巡りは、日本古来の山の自然と信仰の結び付きを今に伝えています。



里

サムライゆかりの シルク

鶴岡市は日本最北の絹産地。地域一円からの支援のもと旧庄内藩士たちが刀を鋏に持ち替え成し遂げた松ヶ岡開墾から発展し、今も養蚕から絹織物までの一貫工程が残る唯一の地です。多層民家や明治創業の工場など、絹産業の歴史と文化を今に伝えます。



海

北前船寄港地 船主集落

庄内藩の城下町だった鶴岡にも北前船の寄港地は点在しています。特に加茂地区は、城下の生活物資を陸揚げする重要港で、湾に面して廻船問屋が並んでいました。市内各所に文化財やゆかりの場所が残ります。



スタンプ箇所



龍王尊 善寶寺



渚の交番 カモンマーレ



致道博物館



出羽三山神社参集殿



松ヶ岡開墾場シルクミライ館



スタンプ箇所の紹介、
めぐり方は
「つるおか観光ナビ」で！

重ね押しスタンプラリーのめぐり方

スタンプ箇所(5か所)で
専用台紙をもらおう！

スタンプ箇所をめぐり、
スタンプを重ね押ししましょう。
めぐる順番は
どんな順番でも構いません。

3つの基本スタンプで
旅の絵ができあがり。
彩りスタンプを加えると、
さらに特別な一枚に。